

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管局・部・課	都市ブランド創造局総務文化部文化企画課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 指定概要

指定管理施設	名 称	①北九州市立門司市民会館 ②北九州市立若松市民会館	施設類型	目的・機能
	所 在 地	①北九州市門司区老松町3番2号 ②北九州市若松区本町三丁目13番1号	I	— ④
	設置目的	演劇、音楽その他の利用に供することにより市民文化の向上に資する。		
利用料金制の状況		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
指定管理者	名 称	共同企業体グループ A2K (代表企業:朝日建物管理株式会社九州支店、株式会社ケンビ)		
	所 在 地	北九州市小倉北区室町一丁目1番1号		
指定管理業務の内容		○施設の管理運営 ○貸館業務 ○自主事業の実施		
指定期間		令和7年4月1日～令和12年3月31日		

【参考：評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%	↑	要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%	↓	要求水準・目標・計画を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準・目標・計画を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

2 評価結果

評価項目	指定管理者 の自己評価	市（所管局） の評価	市（所管局）の評価理由 ※指定管理者の自己評価との 相違理由 など	配点	得点 (評価結果)
	(評価レベル：0～5)			(100点満点)	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				50	43
(1) 施設の設置目的の達成	4	4	ホールの稼働状況については、目標利用件数や要求水準の稼働率を上回り、前年度の利用実績との比較も、15%以上上回っているため、高く評価できる。自己評価も妥当である。	35	28
(2) 利用者の満足度	5	5	親切丁寧な対応を心掛けており、利用者満足度が95%以上を上回っているため、非常に高く評価できる。自己評価も妥当である。	15	15
2 効率性の向上等に関する取組み				30	18
(1) 経費の低減等	3	3	計画に従って適切に管理運営されており、市の求める水準を満たしている。自己評価も妥当である。	20	12
(2) 収入の増加	3	3	計画に従って適切に管理運営されており、市の求める水準を満たしている。自己評価も妥当である。	10	6
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み				20	12
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況	3	3	人員配置、CS研修、地域との連携等が適切に行われており、自己評価も妥当である。	10	6
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制 など	3	3	個人情報管理や収支管理において内部監査を実施するなど、適切に行われており、自己評価も妥当である。	10	6
【参考：総合評価ランク】 A：優れていると認められる（80点以上） B：やや優れていると認められる（70点以上80点未満） C：適正であると認められる（60点以上70点未満） D：努力が必要であると認められる（50点以上60点未満） E：かなりの努力が必要であると認められる（50点未満）				合 計	100
				総合評価ランク (A～E)	B

【総合評価】 ※指定管理者の特筆すべき功績及び努力を求める点等を踏まえ、総括的に記入してください。

- 施設の管理運営は適切に行われた。
- 門司、若松市民会館の両館大ホールの稼働率については、前年度実績を大きく上回っており評価できる。
- 利用者アンケート調査において回収率は高く、利用満足度においても高水準となった。
- 施設利用者に対して、HPで空き情報の公開やInstagramでの案内をおこない、デジタルサイネージ（若松市民会館）や館内掲示板で適切な情報提供を実施し、利用者の利便性や満足度の向上に努めている。
- CS研修や北九州市障害福祉ボランティア協会の協力で実施している福祉講習会を実施するなど、高齢者や身障者にやさしい会館運営に努めている。
- 両館とも、地域団体と連携して市民会館まつりを実施し、地域のまちのにぎわいの創出に貢献した。また、門司市民会館では、市民企画募集事業を実施し、若松市民会館においては、若松図書館と連携してバリアフリー映画を実施するなど、身障者の方も含め、市民に優れた芸術文化を提供し、文化施設としての地域貢献機能を発揮した。

【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】

適正に評価されている。
今後も、市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

<参考> 現指定期間中の評価結果

区 分	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	平 均
評価結果 (合計得点)	73	—	—	73

※高評価のインセンティブ（更新制）について

- ▶1～3年目の平均点が75点以上の指定管理者（指定期間5年間の事業者に限る）について、1期に限り指定の更新（+5年間）を認めるもの。

※低評価のパナルティ（次期選定時の減点）について

- ▶最終年度を除く全指定期間中の平均点が59点以下の指定管理者について、同指定管理施設の次期選定時の審査において減点（総合得点から10点または15点をマイナス）するもの。

事業報告書（指定管理者による自己評価）

1 指定管理施設及び指定管理者の概要

指定管理施設	名 称	①北九州市立門司市民会館 ②北九州市立若松市民会館
	所 在 地	①北九州市門司区老松町3番2号 ②北九州市若松区本町三丁目13番1号
指定管理者 （自己評価者）	名 称	共同企業体グループA2K（代表企業：朝日建物管理株式会社九州支店、株式会社ケンビ）
	所 在 地	北九州市小倉北区室町一丁目1番1号
指定期間		令和7年4月1日～令和12年3月31日
事業報告（自己評価）の 対象期間		令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 企画提案事業・自主事業の実施状況（対象：自己評価の対象期間）

企画提案事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
障害者フェスタの取り組み	☒	○	
市民からイベント企画募集	☒	○	
自主事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
舞の祭典（門司、隔年実施）	☒	○	
コーラス（門司、隔年実施）	☒	×	令和8年度実施
門司シネマフェスタ	☒	○	
門司カラオケフェスタ	☒	○	
ホールでピアノ弾いてみませんか？（門司）	☒	○	
若松芸能まつり	☒	○	
プラスフェスタ in 若松	☒	○	
若松のホールでピアノを弾こう！	☒	○	
清涼飲料水等自販機の設置（門司）	☒	×	7年度設置なし
清涼飲料水等自販機の設置（若松）	☒	○	4台→2台
	☐		

※応募・申請時の提案書や毎年度の事業計画書等に記載の事業を記入してください。

3 自己評価結果

評価項目及び評価のポイント		自己評価
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		
(1) 施設の設置目的の達成		評価レベル (0～5)
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。 ② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。 ③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。 ④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。		4
【評価の理由、要因・原因分析】		
①事業計画に則って施設の管理運営等は適切に行われた。 利用件数は、目標値を大幅に超えることができた。若松市民会館が、9月～11月まで大ホール、小ホール、第一練習室が空調工事で使用不可になったにも関わらず、利用件数は前年比でも上回ることができた。 ②利用促進等を目的として、自主事業を毎年実施している。 門司市民会館では、「門司カラオケフェスタ」「門司シネマフェスタ」「門司市民会館まつり“舞の祭典”」「ホールでピアノを弾いてみませんか」を実施した。 若松市民会館では「ブラスフェスタ in 若松」「若松芸能まつり」「ホールでピアノを弾こう！」を開催して好評を得た。 これらの自主事業は、地域の方を主体とした催しで、地域に根差した文化事業として、認知されており、地域の芸術文化の発展に寄与している。 また、提案事業として、門司は「市民企画公募事業」を展開した。10団体の応募があった中から選りすぐり、ピアノ演奏とプロのバイオリン演奏者南紫音さんを招いてのコンサートを実施し、優れた芸術文化を市民に提供できた。 一方、若松では、パラフェスタ企画事業で「みんなでみんなのコンサート」を実施した。障害のある方もない方も一緒に楽しめるコンサートをコンセプトとして、五平太ばやし、障害者ダンスグループ、シシドカフカ主宰の「エルテンポ」を招いての打楽器演奏で会場が一体となって、障害のある方もない方も楽しむことができた。 門司、若松とも提案事業は大成功のもとに幕を閉じた。 ③A2K 各社および全館合同で毎月1回運営会議を開催し、意見交換、情報共有を図っている。これにより2館の問題意識の共有化、ルールの統一化がなされており、一体運営の効果が得られている。 ④各館ごとに「市民会館だより」を作成し、イベント情報等を市民に配布している。ま		

た、HPやインスタグラムでも広く情報発信を実施している。【両館合計（大ホール）】

年度	要求水準/目標/実績	利用件数	稼働率
R 6年度 (更新前)	要求水準	件	%
	目標	600 件	日数(コマ数) 41.0%(－)
	実績	505件	35.3%(27.1%)
R 7年度 (1年目)	要求水準	557 件	30.0%※1
	目標(当初提案時)	563 件	30.2%
	工事により大ホール 使用不可期間と日 数を考慮し、目標件 数を見直した	463件※2	28.2%
	実績	515 件	31.7%※3
R 8年度 (2年目)	要求水準		
	目標	571 件	30.6%
	実績		
R 9年度 (3年目)	要求水準		
	目標	579 件	30.9%
	実績		
R 10年度 (4年目)	要求水準		
	目標	587 件	31.5%
	実績		
R 11年度 (5年目)	要求水準		
	目標	616 件	33.0%
	実績		

※ ・・・評価対象年度

※1 R7年度より、稼働率の要求水準については、稼働コマ数とした。

(1日の稼働可能コマ数は3とする。)

※2 若松市民会館の令和7年度の目標件数は、9月～11月28日まで、空調工事のため大ホール使用不可で、提案時の目標330件から100件減らして、230件とした。

※3 若松の大ホール使用不可期間を年間稼働コマ数から除外して稼働率を計算した。

【会館別（大ホール）】

会館別	年度	利用件数	稼働率
門司市民会館	R 6年度 (更新前)	213件	日数(コマ数) 29.3%(22.8%)
	R 7年度 (1年目)	243 件	日数(コマ数) 32.2%(26.0%)

	R 8年度 (2年目)		
	R 9年度 (3年目)		
	R 10年度 (4年目)		
	R 11年度 (5年目)		
若松市民会館	R 6年度 (更新前)	292件	日数(コマ数) 41.2%(31.3%)
	R 7年度 (1年目)	272 件 (3か月休館あり)	日数(コマ数) 49.4%(37.4%)
	R 8年度 (2年目)		
	R 9年度 (3年目)		
	R 10年度 (4年目)		
	R 11年度 (5年目)		

※ ・・・評価対象年度

(2) 利用者の満足度		評価レベル (0～5)
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	5	
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。		
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。		
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。		
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。		
【評価の理由、要因・原因分析】		
①②お客様アンケートを毎年10月～3月に実施し、お客様のご意見を伺っている。令和7年度は満足度が98.2%となり、目標はクリアとなった。令和元年から100%を維持してきたが、若松の小ホールで「少し寒かった」というお客様の1件が「あまり満足していない」という回答だったが、各設問のすべてで、「はい」「どちらかといえばはい」と回答されている。特に、A2KとしてCS研修や福祉講習会などを毎年実施しており、受付だけでなく、舞台スタッフについても対応について高い評価をいただいている。また、寄せられた要望の中で軽微なもの（練習室のアンプ更新やホワイエの椅子の更新等）は出来る限り対応している。		

- ③若松では、9月から11月に大ホール、小ホール、第一練習室が、空調更新工事のため、使用不可となった。また、第二駐車場が1月よりポンプ場建設のため、使用不可となり、臨時駐車場（徒歩6～7分）を開設した。その際には、十分な期間を持ってお知らせして周知を図り、苦情にならないように対策を講じた。
- ④施設利用者には、HPで空き情報を公開、専門スタッフとの事前打ち合わせで、注意事項の説明を十分に行った。また、来場者には、HPやインスタグラムでのご案内をはじめ、デジタルサイネージ（若松）や館内掲示板で適切な情報提供を行った。
- ⑤両館とも古い施設であるが、日々の清掃により常に清潔感と美観を保っている。館の老朽化が進む中、施設を維持するために懸命に努力している。

【満足度】	R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1年目)	R 8年度 (2年目)	R 9年度 (3年目)	R 10年度 (4年目)	R 11年度 (5年目)
要求水準	—	95%	95%	95%	95%	95%
目標	90%	95%	95%	95%	95%	95%
実績	100%	98.2%				

【アンケート 回収率】	R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1年目)	R 8年度 (2年目)	R 9年度 (3年目)	R 10年度 (4年目)	R 11年度 (5年目)
目標	80%	90%	90%	90%	90%	90%
実績	100%	100%				
実施件数	72 件	59 件				

※ ・・・評価対象年度

※アンケートの依頼については、毎年10月～3月の期間に実施し、利用者全員を対象としている。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

評価レベル
(0～5)

3

【評価の理由、要因・原因分析】

- ①管理運営費は、指定管理料の範囲内で適切に行われている。また、節減の取り組みと

しては、「デマンド管理による電力の抑制」「個人の節電取り組みの定着化」を柱に省エネ対策を行った。

電気料金は北九州パワーとの契約変更により、従量料金が増額となったが、基本料金が大幅に減額されたこともあり、前年度と比べ減額となった。

若松は9月～11月まで大ホール等が使用不可となったことが、電気料金が減額となった一因となっている。

利用件数は、門司の大ホールの利用件数が前年比+30件、若松は大ホール使用不可もあり、▲20件となっている。

光熱水費合計では、11,559千円で、前年比▲1,440千円（▲11.1%）となり、大幅な削減ができた。

②再委託業者の実施には、設備担当者が立ち合い、適正な実施を確認している。

空調機器、舞台設備や映写機の保守点検等は信頼のおける精通した専門業者に委託しており、故障などの発生時の緊急にも備えている。また、職員が館内外の腐食箇所の再塗装や小修繕を行うなど、施設の整備に努めている。

③今年度は、光熱水費、修繕費ともに前年比で削減でき、経費の効果的、効率的な執行ができたと判断している。

(単位：千円)

【支 出】		R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1年目)	R 8年度 (2年目)	R 9年度 (3年目)	R 10年度 (4年目)	R 11年度 (5年目)
光熱水費	計画	12,067	12,624	12,624	12,624	12,624	12,624
	実績	12,790	11,515	—	—	—	—
修繕費	計画	10,700	11,832	11,832	11,832	11,832	11,832
	実績	9,689	10,573	—	—	—	—
その他管理運営費	計画	107,676	120,710	121,077	121,077	121,077	121,077
	実績	107,676	118,342	—	—	—	—
計	計画	130,443	145,166	145,533	145,533	145,533	145,533
	実績	130,155	140,430	—	—	—	—
前年度との比較		—	10,275				

※ ・・・評価対象年度

両館合計の指定管理料及び光熱水費の使用量の実績は次のとおりであった。

(単位：千円)

電 気 使 用 量	R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1年目)	R 8年度 (2年目)	R 9年度 (3年目)	R 10年度 (4年目)	R 11年度 (5年目)
実績	257,864Kwh	233,259Kwh				

経費	8,135 千円	6,868 千円				
----	----------	----------	--	--	--	--

ガス使用量	R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1年目)	R 8年度 (2年目)	R 9年度 (3年目)	R 10年度 (4年目)	R 11年度 (5年目)
実績	22,378 m ³	21,219 m ³				
経費	3,821 千円	3,676 千円				

水道使用量	R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1年目)	R 8年度 (2年目)	R 9年度 (3年目)	R 10年度 (4年目)	R 11年度 (5年目)
実績	1,565 m ³	1,477 m ³				
経費	1,044 千円	1,015 千円				

※ ・・・評価対象年度

(単位：千円)

(2) 収入の増加

評価レベル
(0～5)

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 使用料(利用料金)収入以外に、自主事業による収入や、企業などの外部からの収入(例：協賛金など)を獲得できているか。
- ③ 自主事業による収益を活用した施設の魅力向上などの投資や、サービス向上などの指定管理業務や市への収益還元の取組みがなされたか。

3

【評価の理由、要因・原因分析】

- ①HPやインスタグラム等の広報活動により、利用増を図っているが、令和7年度は若松の空調工事で9月～11月のホールおよび第一練習室が使用不可となったことが影響しており、例年の水準には届かなかった。
- ②自主事業として、自販機を設置しているが、販売数が減少傾向にあるため、門司は入札が不調で、令和7年度から設置がなく、若松は4台が2台に縮小し、外部からの収入は減少した。
- ③自販機以外の自主事業は、各催事で実行委員会を組織し、A2Kも加わって運営しており、収益金はその自主事業のために使用することとなるため収益還元はないが、市民が芸術文化に触れる機会を設けており、本来の市民会館の役割に沿った運営をしている。

(単位：千円)

【収 入】		R 6年度 (更新前)	R 7年度 (1年目)	R 8年度 (2年目)	R 9年度 (3年目)	R 10年度 (4年目)	R 11年度 (5年目)
指定管理	計画	130,443	145,166	146,182	146,182	146,182	146,182
料収入	実績	130,155	142,798	—	—	—	—

※ ・・・評価対象年度

両館合計の施設使用料収入額の推移は次のとおりである。(単位：千円)

収入	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
使用料収入	9,643	9,687				
対前年度比	1%減	0.5%増				

※ ・・・評価対象年度

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

【評価の理由、要因・原因分析】

①グループ責任者、統括責任者、館長をはじめ、適正な人員の配置で、管理運営を行った。職員がそれぞれ自分の役割を把握し、積極的にかかわることで、お客様の満足を得ている。

②接遇の向上を目的として、CS研修を実施した。また、北九州市障害福祉ボランティア協会の協力で実施している福祉講習会も実施し、「高齢者や障害者にやさしい会館運営」に努力しており、長年の積み重ねで、職員ひとり一人に浸透してきている。

③各館とも、地域団体と連携して自主事業「市民会館まつり」を実施した。地域のまちなぎわいの創出と、地域活性化にも貢献できた。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。

② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。

③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。

④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はない

か。	
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。	
【評価の理由、要因・原因分析】 ①個人情報管理については、代表企業の朝日建物管理がプライバシーマークを取得しており、その手法に則り、社員教育および内部監査を実施し、適正に管理している。 ②予約が重なった場合は、抽選を実施しており、適切に対応している。 ③該当なし。 ④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支は、別途帳票を記載し、会館の運営費以外の支出がないように管理し、毎月収支の内容を、朝日建物管理の経理担当者が現金監査を実施してチェックを行っており、適正に管理を行った。 ⑤行事の打合せの際に、主催者に対し安全対策の確認や諸注意を行っており、安全対策について認識の共有を図って、事故の未然防止に努めている。 ⑥消防訓練を実施し、それぞれの職員がどのような役割を果たすのか確認した。火災やその他の事故についても、マニュアルを作成し、周知するようにしている。 ⑦大雨の際は、文化企画課と連携をとり、お客様や職員の安全を図るため、現場の状況に基づいて協議し、早めに閉館した。文化企画課は休日だったが、緊急連絡網を活用して対応した。	

【総合評価】

【全体的な評価・今後の対応等】

今年度初めて提案事業を実施し、門司の市民企画募集事業、若松のパラフェスタ事業の2件とも市民から好評を得た。若松ではバリアフリー映画を若松図書館と連携して実施し、障害者の方も含めて楽しんでもいただくことができた。このように、市民に優れた芸術文化を提供することができ、市民会館の役割を果たすことができた。

また、職員による小修繕や再塗装を常の実施し、会館の長寿命化に貢献できた。門司は建物の老朽化と地域の高齢化により、利用が減少傾向にあるが、R10年には新しい市民会館に移転が決まっており、今後移転準備に関する業務を適切に実施できるよう文化企画課と連携して実施していきたい。

若松ではR7年度に空調工事が実施され、R8年度には舞台照明設備の更新工事が控えており、大ホールが使用不可になる期間が長くなるが、お客様には事前に周知して、ご迷惑を最小限に抑えていきたい。

【評価レベル】

評価レベル		評価レベルの考え方
5	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営をおこなった
4		要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営をおこなった
3	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営をおこなった
2		要求水準・目標・計画を下回り、課題の残る管理運営となった
1		要求水準・目標・計画を大幅に下回り、大いに課題の残る管理運営となった
0	適切でない	不適切な管理運営となった

※この様式は外部にも公表する資料となります。